

## 第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について

## 1. パブリックコメントの実施状況

## (1)意見の募集期間

令和元年12月9日(月曜日)～令和元年12月27日(金曜日)

## (2)意見の応募者数及び件数

・応募者数及び件数 1名 2件  
 ・男女内訳 男性:1名  
 ・年代内訳 60歳代1名

## (3)提出方法の内訳

郵送	ファクシミリ	電子メール	持参	計
			1	1

## 2. 意見の概要と市の考え方

NO	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	第2章 基本目標と基本的方向及び具体的な施策 1 基本目標①「魅力的で安定した雇用を創出する」 ■基本的方向 (12ページ25行目)	近年の動向で若年世代の医療福祉分野への就業がみられるなどといった記述があるので、基本的分野にも医療福祉分野の記述が必要です。 また、自治医科大学・同附属病院という最優良な地域資源があることを勘案すると、自治医科大学等の連携強化を図ることにより、14頁の「新たな産業の誘致・育成 1)自治医科大学・同附属病院等医療機関との連携が可能な(…)産業」等とつながるのではないかと。	下野市においては、若年世代で医療福祉分野への就業・就職希望が多い状況にあることから、基本的方向には、「医療・福祉分野の高度化等に配慮する」と掲げており重要な施策であると考えております。 また、②新たな産業の誘致・育成には、本市が積極的に誘致を進める産業として、1)自治医科大学・同附属病院等医療機関との連携が可能な「高度医療、福祉、ヘルスケア(医療機器を含む)産業」等と掲載し、 ◆具体的な事業には○医療・福祉系産業の誘致・育成と掲げております。 本市としましても、医療福祉分野への雇用の創出や継続的な雇用に向けて積極的に取り組んでまいります。

2	<p>○学校運営協議会による学校運営への参画の推進(ファミリエ下野市民運動、ふるさと学習・家庭教育の推進) (31ページ6・7行目)</p>	<p>学校運営協議会のある学校をコミュニティスクールといますが、下野市では市内全ての学校に学校運営協議会が設置されました。</p> <p>いじめ、不登校、子どもの貧困など学校が抱える諸課題を、社会総掛りで問題に対処しようとするのがコミュニティスクールの狙いです。また、児童生徒の保護者や地域に住む高齢者も、立ち止まって再び学ぶこと、リカレント教育が必要になります。</p> <p>そうした視点で学校運営協議会による学校運営への参画の推進を捉えた記載をすべきです。</p> <p>学校運営協議会の委員数は下野市全体で115名です。この集団を最大限に利活用すれば、学校・地域の課題解決にもなり、下野市全体の活性化につながります。</p> <p>そうしたまちづくりは、市民の幸福感の向上や、人や企業に選ばれる自治体につながるのではないかと。学校を核としたまちづくりを、今すぐにも始めるべきです。</p>	<p>いじめ、不登校等学校が抱える問題を地域社会全体で対処することは重要であると考えております。</p> <p>また、保護者や地域の方が必要なスキルを身に付け直す、学び直す教育機会の提供も重要であると考えております。</p> <p>そのため、①将来を担う人づくり◆具体的な施策・事業■地域ぐるみの教育活動の推進に「○学校運営協議会による学校運営への参画」の推進を掲げており、また、②生涯にわたり学べる機会づくり◆具体的な施策・事業■学校・家庭・地域社会の連携の推進に、「○地域とともにある学校づくりの推進」と「○地域学校協働活動推進員の活用」という事業を位置づけており、学校・学校運営協議会等が一体となった取組を推進するとともに、生涯にわたり学ぶことができる環境の提供に努めてまいります。</p>
		<p>第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に、コミュニティスクールのまちづくりへの展開などの記載があると、今後5年間の間の下野市の総合戦略が、市民にも親しみやすいものになる。</p>	<p>地域におけるまちづくりは、自治会など地域の各団体を単位として取り組んでいます。その中に、学校運営協議会や学校等も含まれていると考えております。</p> <p>ご意見については、31ページの具体的な施策・事業に記載の○市民協働による開かれた学校づくりの充実、○学校運営協議会による学校運営への参画の推進や35ページに記載している③協働のまちづくりの体制づくりに含まれているものと考えております。</p> <p>今後も市民の皆様のご協力をいただきながら、各種施策・事業に取り組んでまいります。</p>